

業界イメージレポート2019

－警備編－

業界イメージレポート2019 – 警備編 – とは

「業界イメージレポート2019」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人に調査した結果をまとめています。本レポートは警備（施設警備の仕事／交通誘導、イベント警備の仕事）を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。警備の仕事で現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、警備の仕事での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

警備業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と B. 離職者	3
正社員と正社員以外	5
C. 意向者と D. 非意向者	7

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査2019
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は警備の、計800人。

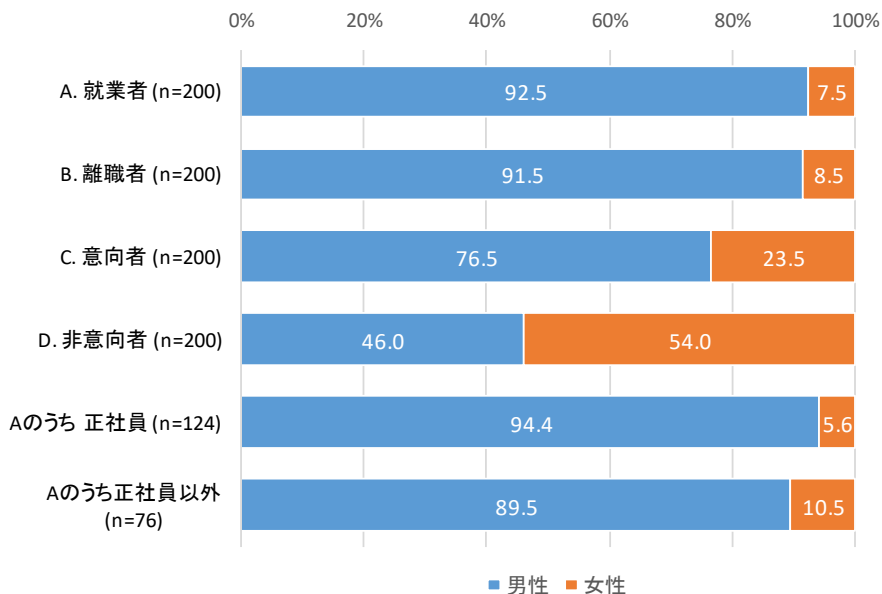
	就業経験者		就業非経験者		(人)
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア	200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売	200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200
	居酒屋	200	200	200	200
ホテル・旅館	200	200	200	200	
介護サービス	200	200	200	200	
ドライバー	400	400	400	400	
警備	200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け	200	200	200	200	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

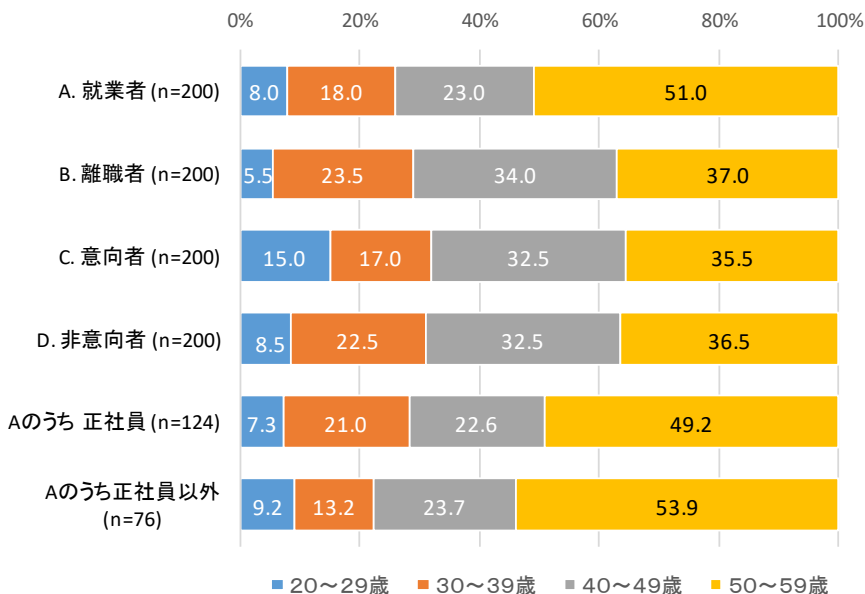
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者、B.離職者では男性の比率が約9割となっている。C.非意向者は5割以上が女性である。A.就業者のうち正社員※1では、正社員以外※2よりもやや男性の比率が高い。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では50～59歳が約半数にのぼる。B.離職者ではA.就業者と比べ30～39歳、40～49歳の割合が高くなっている。



※1 自営業者などを含む。

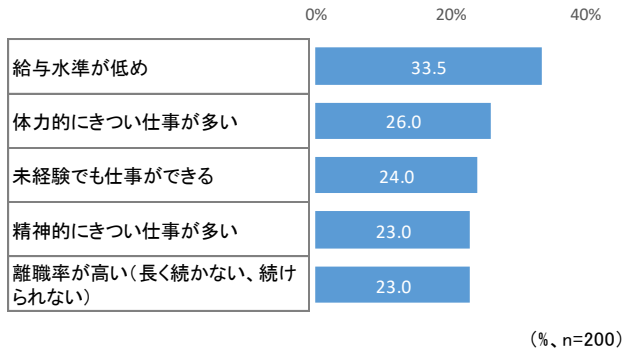
※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち3.9%。

業界イメージ 1

A. 就業者と B. 離職者

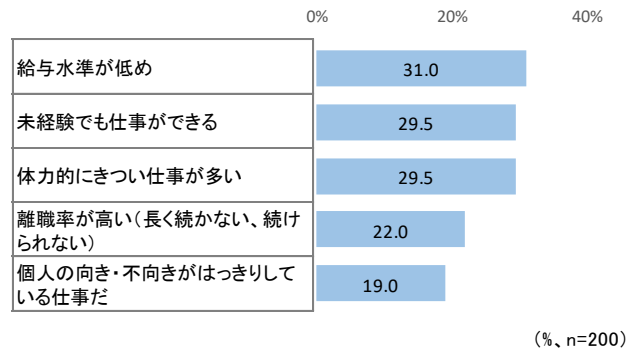
■ A. 就業者の上位5項目

就業者は警備の仕事について、「未経験でも仕事ができる」というよいイメージをもっている一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージも多く上位になっている。



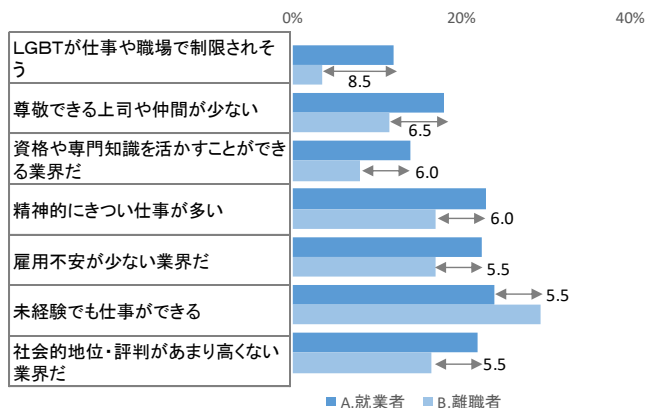
■ B. 離職者の上位5項目

離職者がもつイメージを見ると、上位5項目のうち「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「体力的にきつい仕事が多い」「離職率が高い(長く続かない、続けられない)」「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」は就業者と共通している。



■ A. 就業者と B. 離職者のギャップが大きい5項目

ギャップが大きかった項目のうち、「LGBTが仕事や職場で制限されそう」「尊敬できる上司や仲間が少ない」などは就業者の方が割合が高い。ただし、その差はあまり大きくないと言えるだろう。



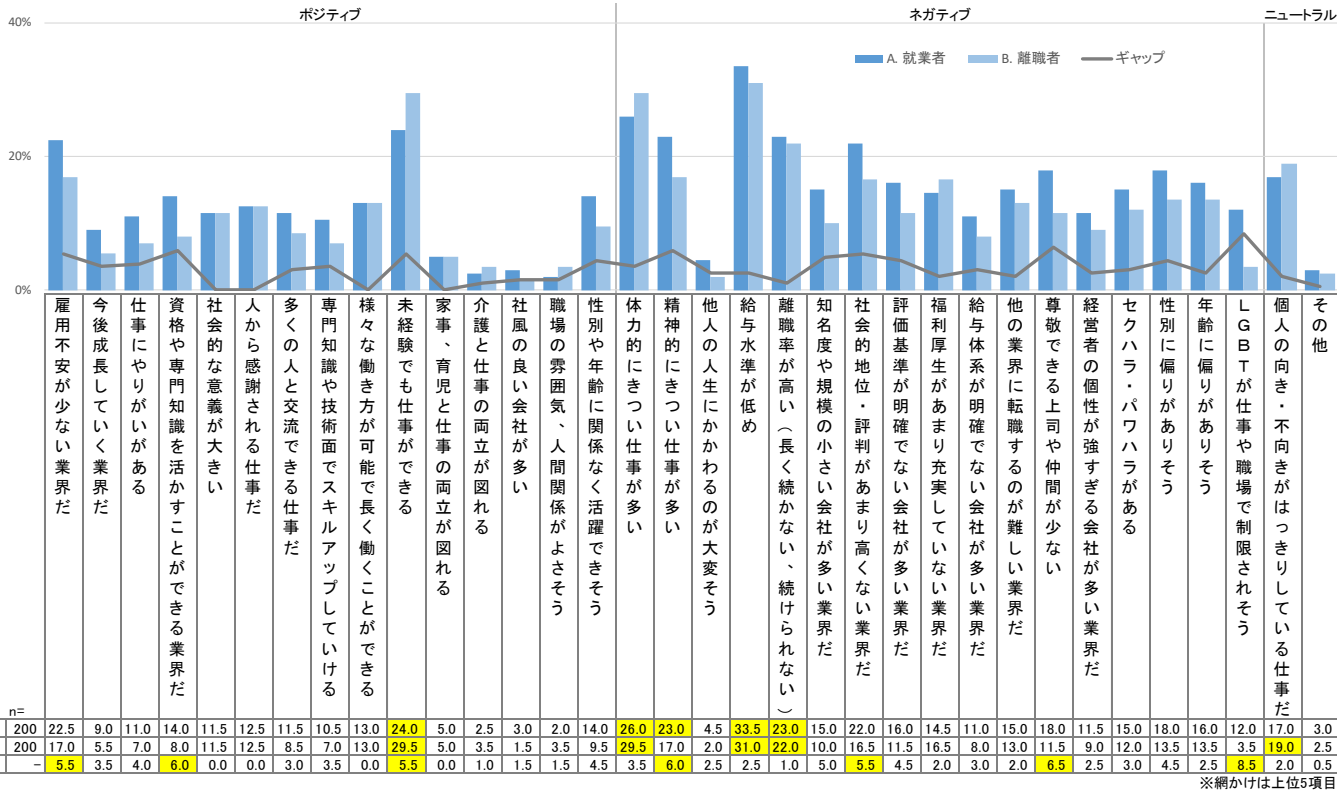
A. 就業者と B. 離職者

警備の仕事についてどのようなイメージをもっているか、現在警備の仕事で働いている就業者と、過去に働いていた離職者に聞いた。

まず就業者について見ると、就業者は警備の仕事について、「未経験でも仕事ができる」「雇用不安が少ない業界だ」といったよいイメージをもっている一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」「精神的にきつい仕事が多い」「離職率が高い（長く続かない、続けられない）」など、ネガティブなイメージも多くの人をもっている。なお、「未経験でも仕事ができる」は、スキルアップにつながりにくいなど、ネガティブなイメージを含んでいる可能性もある。

離職者もつイメージは、上位5項目のうち「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「体力的にきつい仕事が多い」「離職率が高い（長く続かない、続けられない）」は就業者と共通している。

就業者と離職者のギャップが大きかった項目を見ると、「LGBTが仕事や職場で制限されそう」「尊敬できる上司や仲間が少ない」などは就業者の方が割合が高い。ただし、その差はいずれも10ポイント未満で、あまり大きくないと言えるだろう。



[A. 就業者、 B. 離職者]

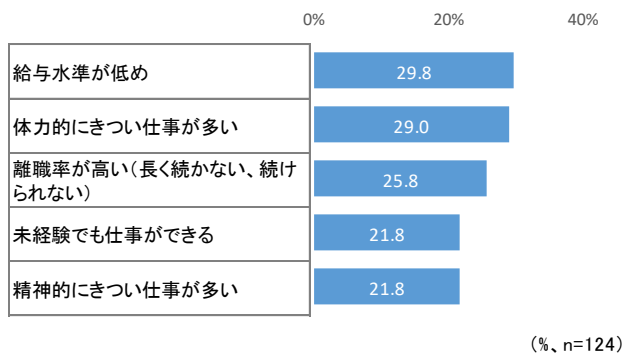
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／警備の仕事（複数回答）

業界イメージ 2

正社員と正社員以外（A. 就業者）

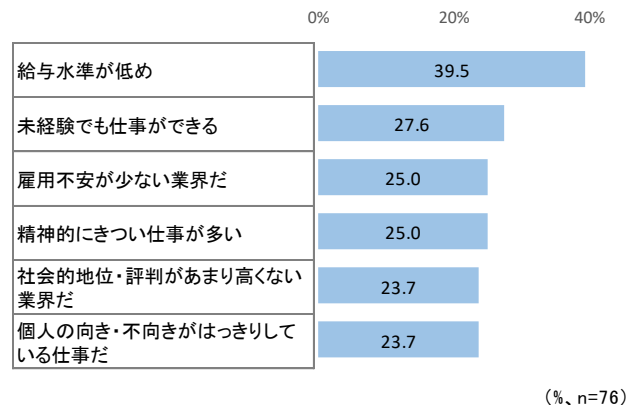
■ 正社員の上位5項目

就業者のうち正社員が警備の仕事にもっているイメージは、「給与水準が低め」が最も多い。さらに「体力的にきつい仕事が多い」「離職率が高い（長く続かない、続けられない）」と、ネガティブなイメージが続いている。



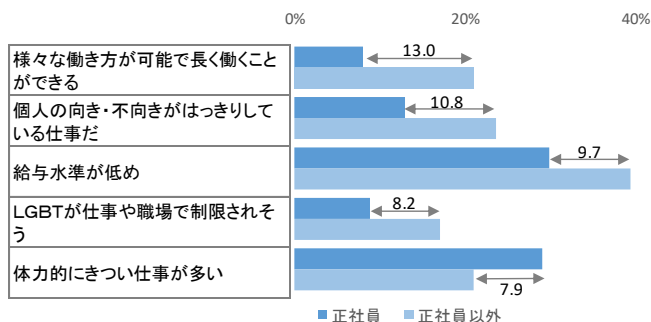
■ 正社員以外の上位5項目

正社員以外の上位5項目のうち、「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「精神的にきつい仕事が多い」は正社員と共通している。「給与水準が低め」は約4割と他よりも割合が高い。



■ 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

「様々な働き方が可能で長く働くことができる」「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」「給与水準が低め」などは正社員以外の方が選択した割合が高い。「体力的にきつい仕事が多い」は正社員の方が割合が高い。



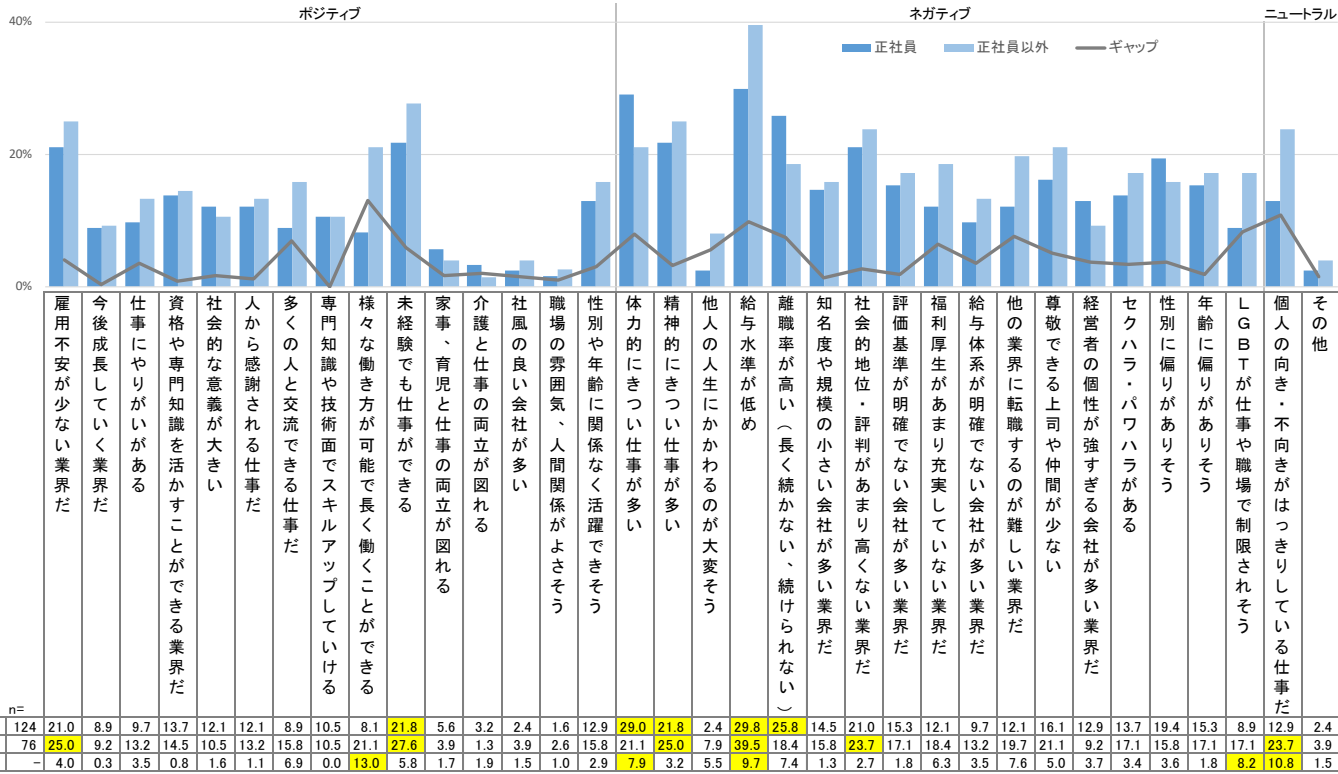
正社員と正社員以外 (A. 就業者)

警備の仕事についてのイメージを、正社員と正社員以外に分けて見てみよう。

就業者のうち正社員が警備の仕事にもっているイメージは、「給与水準が低め」が最も多い。さらに「体力的にきつい仕事が多い」「離職率が高い(長く続かない、続けられない)」と、ネガティブなイメージが上位になっている。ポジティブなものでは、「未経験でも仕事ができる」や「雇用不安が少ない業界だ」の割合が高い。

正社員以外の上位5項目のうち、「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」「精神的にきつい仕事が多い」は正社員と共通している。「給与水準が低め」は約4割と他よりも割合が高い。

正社員と正社員以外のギャップを見ると、「様々な働き方が可能で長く働くことができる」「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」「給与水準が低め」などは正社員以外の方が選択した割合が高い。「体力的にきつい仕事が多い」は正社員の方が割合が高い。



[A. 就業者]

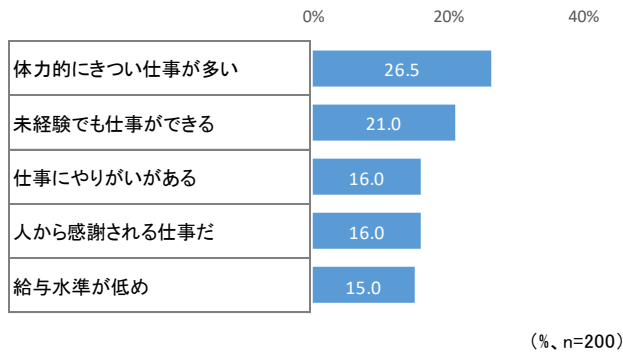
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／警備の仕事(複数回答)

業界イメージ 3

C. 意向者と D. 非意向者

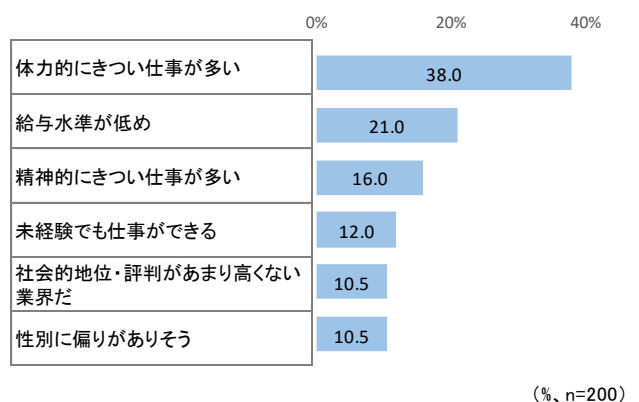
■ C. 意向者の上位5項目

意向者は警備の仕事について、「未経験でも仕事ができる」「仕事にやりがいがある」といったよいイメージをもっている一方、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」など、ネガティブなイメージも上位になっている。



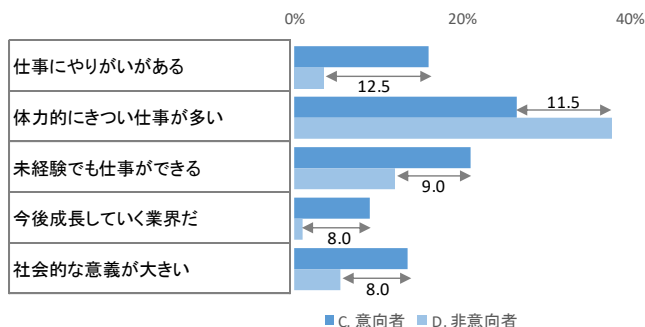
■ D. 非意向者の上位5項目

非意向者がもつイメージを見ると、「体力的にきつい仕事が多い」が最も多い。「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」は意向者・就業者・離職者と共通している。



■ C. 意向者と D. 非意向者のギャップが大きい5項目

意向者と非意向者のギャップが大きい項目は、「仕事にやりがいがある」「体力的にきつい仕事が多い」などで、ポジティブなものは意向者、ネガティブなものは非意向者での割合が高い。



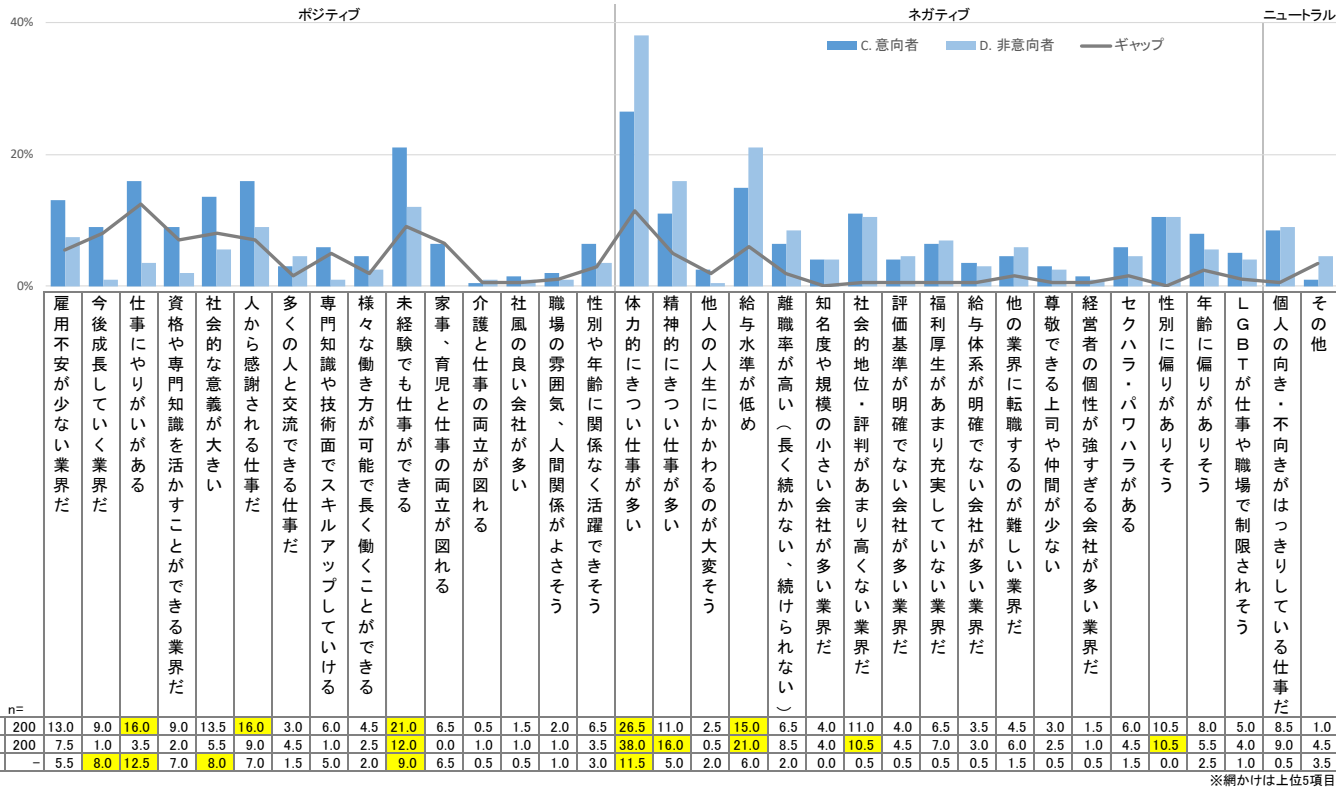
C. 意向者と D. 非意向者

意向者と非意向者に、警備の仕事のイメージを聞いた。全体に10%を超える項目が少なく、警備に対するイメージ自体があまりないことが考えられる。

意向者は警備の仕事について、「未経験でも仕事ができる」「仕事にやりがいがある」「人から感謝される仕事だ」といったよいイメージをもっている一方、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」など、ネガティブなイメージも上位になっている。

非意向者がもつイメージを見ると、「体力的にきつい仕事が多い」が最も多い。「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」が多い点は意向者と共通している。これらは就業者・離職者とも共通しており、警備の主なイメージと言えるだろう。

意向者と非意向者のギャップが大きい項目を見ると、意向者と非意向者のギャップが大きい項目は、「仕事にやりがいがある」「体力的にきつい仕事が多い」などで、ポジティブなものは意向者、ネガティブなものは非意向者での割合が高い。



【C. 意向者、D. 非意向者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／警備の仕事（複数回答）